

# 虫明のカキ養殖の始まり

## ―礎を築いた人々とその奮闘の記録―



猪又俊雄

大正15（1926）年1月7日、裳掛小学校および付設の実業補習学校に、はるばる新潟県から水産教師として一人の若者が着任しました。その名は猪又俊雄、彼の研究なくして虫明のカキ養殖は出発しなかったといわれる人物です。邑久町漁協に残る、彼が昭和5（1931）年に実習に用いた設備に関する記録には、次のように記されています。

動物図鑑購入  
海水二重寒暖計購入  
観測機購入  
カキ養殖筏修理及船代  
カキ養殖補助工費  
うなぎ養殖場工費

この書類によつて、少なくとも昭和5年には「カキ養殖筏」が設けられていたことが確認されます。これは、虫明でカキの養殖が行われたことを示す今のところ最も古い記録です。水産教師とは、普通の教員とは別に漁業組合によつて設置されていた役職のようで、猪又がわざわざ新潟県から来ていることを考えると、彼は初めから漁業組合の招きに応じて赴任して来たのかもしれない。

以後、昭和6年度の組合の会計報告書にも、「懸垂式養殖」を補習教育の実習として経営させると記されていて、実験が続けられていることが分かります。ところが、そうした矢先の昭和8年12月、猪又俊雄は30歳という若さで急逝してしまいます。しかし、彼の教えを受けた生徒たちは、その後も養殖を続け、昭和12年1月の組合の総代会で

は、カキ筏10台を希望者に与えて養殖を行わせることが決議されています。さらに、4月の総代会では、長島の伊良々沖一カ所のみだった「垂下養殖場」を、県から支給される種カキの量との関係で、小札・広浦・赤阪東西・宗盛・内貝搔・鳥羽ヶ原・榎谷・桶ノ内にも拡大することが決定されました。

ところが、その9月に台風が襲来。「垂下式かき二十十台」と「簡易式かき二十五間」が被害を受けてしまいました。また、翌13年3月には、岡山県に「垂下養殖試験」用として、宮城県産種カキの無償交付を申請していましたが、これが実現したかどうかは不明です。そして、戦前期に関しては、これを最後に垂下式つまり筏を用いたカキ養殖の記録は見られなくなりました。ちょうど12年7月には日中戦争が始まり、そこに9月の風水害が重なったことで、

手間のかかる垂下式の養殖は困難になったのではないのでしょうか。

ただし、海底に杭を打って種カキを吊り下げる簡易式や、干潟に種カキを撒く地蒔式による養殖は続けられています。それは戦争によつて男手を戦地にとられ、あるいは戦死させてしまった家庭に収入の手段を与えられたための事業として推進されました。15年9月には、そのために「愛国漁場」という名の特別区域も設定されました。そこに撒く種カキや種アサリの交付を、岡山県に申請した書類によれば、組合員中の出征者数（戦死者も含む）は62人に上っています。

こうした戦前期における猪又ら先駆者たちの苦心や、あるいは戦死者遺族の悲しみが礎となって、虫明のカキ養殖は戦後に大きく開花し、今日の隆盛を見るに至っているのです。

# ホップ・ステップ・ジャンプ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

## 「Teamホップで楽しくダンス」

### 「Team Fairy（チームフェアリー）」

毎週金曜日、邑久町公民館でヒップホップダンスを踊る皆さんが集合します。今年1月に発足したばかりのTeam Fairyは、子どもも大人も楽しめるヒップホップダンスグループ。現在、会員は大人10人、子ども30人。準備運動として、ストレッチも兼ねたリズムトレーニングを始めた皆さんは、軽快な音楽のリズムに合わせて、テンポよく体を動かします。体が温まると、曲に合わせたダンスを開始。コーチから動きについて、一つずつ説明を受けながら、繰り返し練習します。

「二つの踊りをみんなで踊



リズムトレーニングをするキッズチームの皆さん



軽快にヒップホップダンス

れるから楽しい」「子ども連れでもOK。気軽にできるので、一緒にやってみませんか」と、ダンスが大好きな皆さんの声。随時、会員募集中です。あなたも、ヒップホップ始めてみませんか？

★活動日時 金曜日 午前11時45分～午後零時45分

キッズ（3チーム）金曜日 午後3時30分～6時30分

★活動場所 邑久町公民館

★会費 月1、500円

★連絡先 松川真紀さん

☎0869-24-11525

## 初心者でも手軽に演奏 「大正琴すずらん」

長船町公民館のボランティア室から、大正琴の美しい音色が聞こえてきます。月2回集まり、大正琴の練習に励む皆さんは、さまざまな曲に合わせて演奏を行い、音の強弱や間合いを確認し合います。

大正琴は、左手で数字の鍵盤を押さえ、右手のピックで弦をはじくだけで演奏できる楽器です。また楽譜は数字で書かれていて（数字譜）、音符が読めない人でも手軽に演奏できます。「大正琴は、演歌からク



演奏会に向け、課題曲を反復練習

「先生の明るいパワーをもらって、みんな頑張っています」と、来年の7月にNHKホール（東京都渋谷区）で行われる演奏会に向けて、皆さん、とても楽しそうに、そして一生懸命に練習に取り組んでいます。

興味のある人、一緒に大正琴を演奏してみませんか？

★活動日時 第1・3金曜日 午後3時～4時30分

★活動場所 長船町公民館

★会費 月3千円

★連絡先 水田節子さん

☎0869-26-6885